

# mmc ニュース

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行 明治大学マスコミクラブ  
 〒101-8301  
 東京都千代田区神田駿河台1-1  
 明治大学広報部内 MMC事務局  
 電話 03-3296-4082  
 FAX 03-3296-4087  
 発行人 木村 武  
 編集人 大高 佳一

## 1月27日(土)2006年総会

二〇〇六年の新年総会を左記の

ように開催します。今回は母校の

理事の方々に出席いただいて、M

MCとの協調関係を、さらに発展

させる総会とする計画です。万障

御繰り合わせの上ご出席ください。

日時・1月27日 金曜日

ニッポン放送に対するライブド

アによる株買占めで始まった05年

は、楽天によるTBS株買占めで

終わろうとしている。マスコミ業

界の変革はインターネット企業に

よるマスメディアの経営支配・参

加の挑戦から始まろうとしている。

21世紀のマスコミ業界の姿は、

まだ不透明だが現状からの変化は、

避けられない。

MMCは変化を

注意深く、研究・

対応したい。

今年のマスコミ

就職セミナー

は、7月に放送・

アナウンサー・

出版、10月に新

聞・広告・プロダクションと6回

のセミナーを実施した。例年より

18時〜20時30分

●会場・駿河台・明治大学

リパティタワー23階

「紫紺・燦」

●会費・1万円

(年会費4千円含む)

※同封の返信ハガキで、出欠予定

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631



### マスコミ界へ もっと明治を MMC会長 木村 武

な就職活動の体験談が好評だった。今年度のセミナー出席の学生の特

徴は、セミナー後の懇親会に参加

して先輩との交流を求めている学生が

増えた事、また夏のビアパーティ

に30名の学生、特に熱心な女子大

生が多く参加したことに感激、こ

れも情報コミュニケーション学部

の牛尾助教のジェンダー教育の

影響かと感じつつまた感謝。

セミナー講師と役員との反省会

でも。大学との連携が今後ま

すまず重要となる。

今年も、新年総会・MMCセミ

ナー・就職セミナー・ゴルフ会・

サマービアパーティ・忘年会など、

多彩な行事に多くの皆様にご参加

いただいたこと、感謝いたします。

今年が明けると新年総会です。会員

全体の親睦をさらに深めるため、

是非ともご出席いただきたく願

い申し上げます。

をご連絡ください。

※ご欠席の場合には年会費4千円

を左記の郵便振替口座へご納入

願います。

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

◆郵便振替口座・記号番号

00130141762631

◆加入者名 明治大学マスコミクラブ

00130141762631

インターネットに「ミクシイ」という個人情報発信サイトがある。その「明治大学」カテゴリーのなかで、「だらしないなんだな、最近の明治」というトピックスがあっ

た。

現役学生や私のようなOBがこ

ぞって書き込みをするのだが、ど

うやら最近の明治は、看板である

野球やラグビーが弱いこともあっ

て、学生が「母校愛」(何だか「ジャ

イアンツ愛」などと

いうハラタツの戯言

みたいだが;)に目

覚め、意識を高揚さ

せるイベントがない

のが原因ではないか?

ということだ。

たしかに私たちの

時代は野球もラグビー

も全盛期で、それぞ

れ「島岡吉郎」「北

島忠治」という、学

生スポーツの域を超

えた。「御大」に導か

れて、当該の選手諸

君はいうに及ばず、

一般学生でさえ泥臭

い明治魂を叩き込ま

れたような気がする。

もちろん就職活動

では、記念館の出陣式で意識を高

揚させたものだが、ここ3年ほど

MMCセミナーで一席ブツでも、

いまひとつ学生の反応がないのが

気にかかる。おしなべておとなし

いのだ。たぶん、彼ら(彼女ら)

には、自ら進んで就職の扉をこじ

あけるバイタリティーが欠けている

のだろう。

そう、北島メイジの精神的支柱

であった「前へ」の精神が足りな



### 神田駿河台に集う 意味をもう一度 考えよ!

社 眞  
風 校 條

か!

MMCのOB・OG連中も、明

治魂のある学生を待ち望んでいる。

今からでも遅くはない、校歌や

応援歌をマスターしようではない

か、学生諸君! ついでに「燃え

よドラゴンズ」を歌える奴がいた

ら、内定は決まったようなものだ。

(われらマスコミ・ドラゴンズ会

事務局長/84年・政経)

事務局長/84年・政経)

事務局長/84年・政経)

事務局長/84年・政経)

マスコミ  
セミナー 講師をつとめて

放送メディアをめざせ

NHK 岩崎 博

(72年・法)



中で主導権を握ろうとする駆け引きは激しくなるでしょう。放送の受信機がコンピュータ化するからです。逆に言えばテレビがあれば

見えた、将来への可能性

テレビ朝日 飯村 真一

(89年・法)



放送業界を目指す後輩諸君の参考になる話をといて、神田の母校を久しぶりに訪れました。民放で活躍する諸氏とともに演壇に並ぶも30年前の面影がないのは当たり前です。しかし、何となく小奇麗な雰囲気には違和感を覚えました。それだけ年を取ったと言うことでしょか。

05年のセミナーの講師を務めて、嬉しい事と残念な事と両面を感じました。まず残念な方ですが、ひとつはセミナーの出席者が少ないこと。

他の大学、例えば慶応の状況を聞くと、セミナーは種類を問わず常に満員だそうです。その様子は一種の就職予備校のようだともいえます。在り方の是非は別にしても、学生の真剣度は雲泥の差です。また、出席した学生にメールアドレスを配ったにも関わらず、私のところに問い合わせてきた者は僅か一名でした。履歴書の書き方ひとつでも、面接の挨拶ひとつでも採用者の視点でアドバイスできただけに残念です。

逆に残念なのは、多数の明大生がテレビ朝日のアナウンサー試験を受けに来たことです。本採用試験の前にアナウンス部主催で「アナウンサー塾」というセミナーを開いたのですが、ここにも明大生が数名出席しており、しかもその全員がマスコミ就職セミナーに来ていたということです。更に、そのアナウンサー塾で明大生は高評価を受けていたようで、OBとしては大きな可能性と希望を感じました。

「明大方式」の受験対策を

読売新聞社 吉田 尚大

(95年・法)



以上、法政大は、試験で選んだ1〜3年生約2000人の「自主マスコミ講座」を作り、「新聞・報道記者コース」「アナウンサーコース」など志望分野別に6コースに分け、筆記試験対策や作文の添削を行っている。「手取り足取り」の受験対策の結果、昨年は約50人がマスコミに就職している。

セミナー終了後に会った学生は、まだ論文の勉強もしてなく、マスコミ志望者がよく使う「朝日キワード」などの参考書も知らないようだった。このままで、鍛え抜かれた他大学の学生と入社試験で互角に闘えるか心配になった。早大とは志望者数が違うし、法大のような「手取り足取り」の受験対策をしていない明大として、また別の方式のバックアップが必要ではないだろうか。

一方、法政大は、試験で選んだ1〜3年生約2000人の「自主マスコミ講座」を作り、「新聞・報道記者コース」「アナウンサーコース」など志望分野別に6コースに分け、筆記試験対策や作文の添削を行っている。「手取り足取り」の受験対策の結果、昨年は約50人がマスコミに就職している。

頑張る人を応援したい

東急エー 小野崎 裕典

(05年・商)



この大学は本人がその気ならなんでもやらせてくれる、何か夢や目標を持った人に十分な可能性と環境を用意してくれる環境があると私は思います。そしてこのMMCもそのうちのひとつであると感じます。マスコミ業界で成し遂げたい夢を持った人、夢を創っていきたい人に対して何か力になってあげたい、そんな心を持っていてると私は思います。そして私も壇上で言葉を発する時、それを念頭に置いて話しました。少しでも多くの学生が(拙い話ではありましたが)私の言葉で本気でマスコミに行きたいという気持ちを強めてくれたらこれ以上ない幸いですと思う今日この頃です。

「頑張る人をそっと応援してくれる親のような存在」僕が明治大学に対してもっている印象です。

突然こんなことをこの場でいうのはおかしいかもしれませんが、今回講師として来校した際学校と学生を見ていて抱いた素直な感情がこれなのです。

2005年度 MMC マスコミ 就職セミナー実施概要

〈会場〉駿河台・明大リパティホール

■7月7日「放送」

〈講師〉  
岩崎 博 NHK  
塩野弥千夫 日本テレビ  
村田 典子 TBS  
山川英一郎 テレビ朝日  
熊谷 正樹 テレビ東京  
〈司会〉  
倉林 敦夫 テレビ朝日

■7月13日「アナウンサー」

〈講師〉  
小沼 俊男 NHK-CTI 日本語センター  
日高 充 テレビ東京  
飯村 真一 テレビ朝日  
鈴木 純子 文化放送  
〈司会〉  
松永 二三男 日本テレビ

■7月14日「出版」

〈講師〉  
米澤 仁次 光文社  
田中 亨 扶桑社  
田中 裕士 文藝春秋  
瀧口 宏 集英社  
山室 秀之 講談社  
浜本 邦生 小学館

■10月6日「新聞」

〈講師〉  
内田 正彦 小学館スクウェア  
荒川 和夫 スポーツニッポン新聞社  
古満美千子 朝日新聞社  
吉田 尚大 読売新聞社  
〈司会〉  
服部 真樹 日本経済新聞社

■10月13日「広告」

〈講師〉  
吉井 章夫 アサツー ディ・ケイ  
水戸 俊一 ジェイ・アイ・シー  
佐久間英彰 博報堂  
小野崎裕典 東急エージェンシー  
〈司会〉  
和田 哲郎 I & SBBDO

■10月26日「プロダクション」

〈講師〉  
山田 祐司 エスピーブレイン  
校條 真 風韻社  
平石 浩章 NTV 映像センター  
黒田 英喜 CMJ JAPAN  
〈司会〉  
大林 龍彦 共同テレビジョン

●情熱が講師ひとり一人から伝わってきた。

●自分はまず何をすべきなのか今後の道筋が見えた気がします。

●雑誌・インターネットで得られない情報を知ることが出来た。

●マスコミ業界へ就職したいという気持ちが強くなりました。

●「どのような人材がマスコミ業界から必要とされるのか」非常に勉強になりました。

●講師の方々が自分の仕事をとてやりがいのある仕事だと力説している姿が印象的でした。誇りを持ってやるような仕事に就ける事をこれからの目標にしたい。

●熱いお話を聞いて、就職活動へのモチベーションを高めることが出来ました。

●自分に重く響き意識を新たにしました。活躍されている先輩方とは輝いて見えた。

●今、自分なりの「Good Job」を模索している私にとって、感慨深いものでした。

●「プロ意識の高さ」を感じ取ることができました。

●非常に感銘を受け、この上ない励みともなりました。

●マスコミ業界で働く方々の情熱や人間的魅力を感じました。セミナーを通し、この業界で活躍したい思いが強くなりました。

●「誰もが思い浮かぶアイデアであったとしても、それを企画し発表することに意味がある」という話を聴いて、「皆とは違う新しいことを考えなくてはいけない」という思いが強く再認識し、人との関係の中から全てが生み出される面白さに広告業界への興味がさらに広がりました。

●何から始めればいいのか分からない状態でした。しかし、今回

## マスコミセミナーで学んだ

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

# ラジオと私の関わり

## ニッポン放送内定

山下 信之(商・4年)



●幼稚園からラジオのカロオケ番組で、親戚が「北酒場」を熱唱。ラジオの存在を知るきっかけに。

●小2で母が番組で賞金ゲット！ラジオが身近な存在へ。

●小4で祖母に小型ラジオを買ってもらった。今も私の宝物。

●小5で深夜番組で「聴得」した笑いと健全な性知識により、いじめられっ子からクラス一のひょうきん者に変貌。

●中学・高校時代はラジオオナー

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

たい思いが強くなりました。

●「誰もが思い浮かぶアイデアであったとしても、それを企画し発表することに意味がある」という話を聴いて、「皆とは違う新しいことを考えなくてはいけない」という思いが強く再認識し、人との関係の中から全てが生み出される面白さに広告業界への興味がさらに広がりました。

●何から始めればいいのか分からない状態でした。しかし、今回

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

種である、ということ再認識し、人との関係の中から全てが生み出される面白さに広告業界への興味がさらに広がりました。

●何から始めればいいのか分からない状態でした。しかし、今回

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

●「誰か」が思い浮かぶアイデア

ることを初めて知り、何だかうれしくなりました。

●毎年、こんなセミナーを開いてくださることはこれから就職する学生の大きな助けになるなあと思感しました。

●講師の方々の話は、どれも大変ユニークで楽しく聞かせていただきましたが、押さえておくべきポイントは細かく真面目に答えてくださって、本当に為になるお話でした。

●今まで漠然としか見えていなかった自分の将来が、はっきりしてきたような気がして胸が熱くなりました。

●知らないことばかりで、とても意義のあるセミナーでした。

●一般論ではなく実体験に基づいたお話であったので、非常に興味深かったです。

●講師の方々が一言に言われていたことは「結局自分は何がしたいのか」ということだと私は受け止めました。

●僕らの先輩にあたる方々が、貴重な時間を割いて下さることは、とてもありがたいことです。

●話に聞き入ってしまい、本当にあつという間でしたが、貴重なお話を聞けて、マスコミ業界に大変興味を持ちました。

●知らないことばかりで、とても意義のあるセミナーでした。

## MMCに新たな課題

——セミナーに参加して

日刊スポーツ 齋藤 柳光

牛尾助教は、「情報コミュニケーション」の現状とマスコミ志望者の動向、そして専門のジェンダーフリーを「マスコミ及び経営者・管理職の新常識・ジェンダーマネジメント」と題して講話してくれました。

まず、1143人のアンケート調査の結果、ジャーナリスト志望者が70・5%と圧倒的な多数を占

めことを紹介いただきました。MMCにとってはうれしい結果ですが、牛尾助教は「関心の高さに驚きましたが、マスコミはきわめて狭き門です、情報コミュニケーション学部は「マスコミコミュニケーションではないのでうれし

いやら困ったやら」と戸惑いを語られました。それというのも、自らも慶応大学から2000人に3

「非常に非効率的だ」という見解を強調して見ました。

牛尾先生は、配布のレジュメに示されたHD I(人間開発指

にそんな体験からジェンダーフリーと取り組む姿勢には、長年にわた

り就職セミナーに力こぶを入れてきたわがMMCにとってあらたな大きなテーマを与えられたように

思います。ゲスト参加いただいた大黒彦助教授も「大学でマスコミ人が少ないとよくいわれるだけ

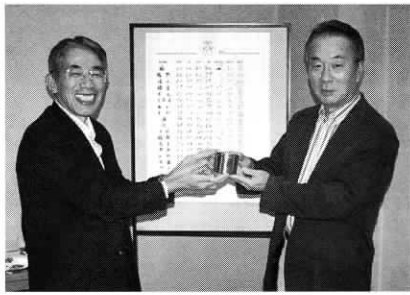
に」とエールを送ってくれました。

低い現実を調査数字で示しました。これは、言わずもな私たちがそれぞれ職場で関わっていることではあります。「男女雇用均等法などはあっても面接で「結婚したらどうします」などという聞いてしまふ現状はまだです」と牛尾助教。ご自身も結婚して職場から家庭に入り「自分の名刺と名前前で動けず、〇〇の奥さんといわれない立場になってたまるなく苦しくなり悩んで」あらためて大学で学び、教壇に立つという選択をしたといっています。



# 大西氏が優勝

## 好天に恵まれた 第12回MMCゴルフコンペへ



優勝した大西敏勝氏(右)と木村会長

### 第12回MMCゴルフコンペ成績表(オネストジョン方式)

順位	氏名	グロス	申告スコア	調整スコア	正直度
優勝	大西敏勝	90	88	88	0
優優	田柳耕平	102	96	96	0
3位	斎藤柳光	108	88	88	0
4位	堀野威夫	92	87	86	+
5位	野村義臣	99	91	90	+
6位	西口宏	100	95	92	+
7位	茂木達郎	100	92	89	+
8位	木元尚男	101	94	88	+
9位	諸根靖忠	108	100	94	+
10位	木謙武	111	104	98	+
11位	鎌倉精一	112	100	107	+
12位	田正徳	134	120	105	+
13位	竹下浩治	126	114	98	+
14位	泊三夫	92	86	87	-
15位	榎郁太郎	83	80	82	-
BB	猪野慎吾	82	79	85	-
BM	堀口博史	97	89	95	-

〈ニアピン〉④西口⑧西口⑫堀口(ベスグロ)猪野  
かくしホール込みグロスとは=18ホールズ中の任意の4ホールをかくしホールとして、そのホールでは、パーディーだろうが、ダブルボギーだろうが、全てパーで計算します。  
申告スコアとは=スタート前に自己申告をした当日の自分の予測グロススコアのこと。  
正直度とは=申告スコアとかくしホール込みのスコアとの差のことで、0が一番良く、同じ0なら年令の上の人が上にくる。アンダーパーよりオーバーパーが優遇されます。実力通り発揮して、かくしホールを読み切ったプレイヤーが優勝します。

11月16日のMMCセミナーで行われた、エスピーアイ丸田氏の「広告主視点から見るとマスメディアビジネスの今後」という講演は大変内容の濃いものであった。現在、広告に携わる、特に広告代理店の人たちにとっては広告媒体戦略立案に際し重く受け止めなければならない。時にして媒体セールスマンになったが如く、広告メッセージ伝達効果を忘れ、見た目の媒体料の安さでメディア提案をしがちなのが広告ビジネス風土があるからだ。

お忘れになったとか、これもご愛嬌か。  
ニアピン賞には西口さんがアウト2ホールとも、インは榎さんと堀口さんが入った。  
更に今回特別にベスグロス賞が設けられ、42・40で廻った猪野さんの82が選ばれた。  
鎌倉精一(66年・文)

お忘れになったとか、これもご愛嬌か。  
ニアピン賞には西口さんがアウト2ホールとも、インは榎さんと堀口さんが入った。  
更に今回特別にベスグロス賞が設けられ、42・40で廻った猪野さんの82が選ばれた。  
鎌倉精一(66年・文)

## MMC情報伝言板

好評配信中!  
Eメールアドレスのご登録を!  
配信希望情報も随時受付中!  
必要事項:氏名・学部・卒年・Eメールアドレス  
送信先:sawwada@k7.dion.ne.jp

本年3月からMMC会員相互の情報交換の場として、Eメールによる「MMC情報伝言板」を開始。これまで左記のような情報を配信し、ご好評を頂戴しています。その他、MMCの各種イベント情報等も随時Eメールにてお送りしておりますので、まだEメールアドレスを登録されていない方は、是非ご登録ください。また、MMC会員に情報を配信した場合は、是非ご登録ください。また、送信先:sawwada@k7.dion.ne.jp

「広告主はROI、つまり「費用対効果」にしか興味はない。広告予算は額が大きいいため広告担当者的にはその広告投下の効果を把握して、講義は内容が多く、その全てをカバーしようとしているので要約的にすることは止むを得ないが具体的に理解するには少々難しく示唆したと言えらるだろう。学生が多く出席していたがMMCの観点から言えば彼らに「広告活動は消費者などに対するコミュニケーション、メディア購入はその手段、メディア購入の量と質はコミュニケーションの量と質で測られるべき」ということが理解されたと思う。彼らが丸田氏の講演を聞きあらためて広告ビジネスに興味を抱き、大変面白い仕事ではないか、と感じてくれたらより多くの有能な学生が広告界に入ってくるものと期待している。

広告界の課題を提起  
MMCセミナーを開いて  
元JWトンソンジャパン 猪野 慎吾

送付先: sawwada@k7.dion.ne.jp  
②幹事長は理事長から配信の認可を得る。  
③認可後、Eメールアドレスに配信する。  
④会員の多くにメルिटのある情報であること。  
⑤それぞれに主義・主張を持つマスコミ人に配信されることを考慮し、主義・主張が含まれていないこと。  
⑥情報に誤りや不確実な部分がないこと。  
⑦危険性・トラブルが考えられないこと。  
⑧問合先・返信先は情報提供会員または、その情報の提供元とし、その連絡先を明記すること。  
⑨情報はパソコン環境の汎用性とウイルス対策を考慮して、メール本文のみとし、添付ファイルは不可とする。  
⑩提供情報は全ての情報を文字データ化して幹事長にEメール送信すること。FAXや印刷物、PDFによる送付は不可とする。